

タフ・ビジョン(遠野市農林水産振興ビジョン)について

【発表の要旨】

農林水産業の振興を目的に、遠野市農林水産振興ビジョン(※ タフ・ビジョン)を策定しました。

※ タフ・ビジョン： 遠野市農林水産振興ビジョンの略称。
とおの アグリカルチャー フォレストリー フィッシャリーズ ビジョン
Tono Agriculture Forestry Fisheries Visionの頭文字をとって、「タフ・ビジョン」とし、足腰の強いタフな農林水産業 を目指すものです。

【発表の内容】

1 タフ・ビジョンの概要

平成 17 年から取り組んできた「農業生産 100 億円達成アクションプラン」の中間検証を行い、農林水産業のさらなる振興を図るため、平成 22～27 年度までの 6 年間の計画期間とする「遠野市農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)」を策定しました。

ビジョンの策定にあたっては、本年 2 月に開催した「みんなで確認・語ろうタフ・ビジョン」において広く市民の意見を聞くなど、関係機関・団体・部会との協議・調整を行い成案しました。

タフ・ビジョンは、ビジョン及び振興計画を包括する総称で、「農業生産 100 億円達成アクションプラン」や「農業生産 100 億円達成アクションプラン加速計画」を引き継ぐものであり、生産者と関係機関・団体が一体となり、引き続き農業生産 100 億円達成を目指します。

2 推進体制

(1) タフ・ビジョンを推進する組織・体制・拠点

農業分野のワンフロアー化及びワンストップ化を図るため農業委員会及び農業部門を遠野地区合同庁舎に、畜産分野は畜産プラザに、林業分野については森林総合センターを拠点に、農業・畜産・林業の 3 分野が各拠点において、関係する機関・団体と連携を密にし、本市の農林水産業振興を図ります。

(2) マンパワーの活用によるタフ・ビジョンの推進

① 農業委員との連携・協働体制による推進

- ・ 遊休農地・耕作放棄地対策と農地利用集積に係る取り組み等。

② 各専門アドバイザーを配置しての推進

- ・ 農地利用集積アドバイザー：農地流動化・団地化の推進。遊休農地の解消推進。
- ・ 農業活性化アドバイザー：作物栽培指導。販路の開拓調査及び実践。
- ・ 新規就農対策アドバイザー：新規就農者発掘と支援。あぐりスクール事業の実施。
- ・ 担い手支援コーディネーター：認定農業者確保と育成。集落営農組織の強化支援。

5 今後のスケジュール

タフ・ビジョンの推進について、6 月から集落及び関係機関・団体への説明会の開催や遠野テレビを活用し、農業関係者及び市民に広く周知します。

担当	農業活性化本部 農業政策担当(菊池亨) 電話 0198-62-2111 (内線 112)
----	---